

第五中学校区義務教育学校 開校準備委員会 NEWS【No.2】

令和4年9月 編集・発行 貝塚市立義務教育学校開校準備委員会

令和4年8月29日(月)、二色小学校において第2回貝塚市立義務教育学校開校準備委員会が開催されました。今回は、学校名などを決定するまでの具体的なスケジュールや学校名のアイデア募集の実施方法、新たな学校の教育方針の基礎となるグラウンドデザインについて、協議しました。

会長、副会長が決定しました

会 長 宮瀧 秀一郎委員 (第五中学校校長)

副会長 成川 幸子 委員 (二色小学校学校協議会委員)

学校名のアイデアを募集します！

第1回委員会において、学校名、校章及び校歌の検討にあたっては、地域にお住まいの方からアイデアを募集することが決定したため、今回は学校名の募集方法について協議し、内容が決定しました。

募集期間は令和4年9月2日(金)～22日(木)まで、応募対象は二色小学校、第五中学校の児童生徒及び教職員と、第五中学校区にお住まいの方です。

応募方法は、応募用紙に記入し提出(郵送、FAX、持参のいずれか)する、インターネット応募フォームに入力し送信するの2つの方法をとることとしました。また、1人につき1点までの応募とし、応募には記名が必要です。

今回は校名案のアイデア募集ですので、応募数の多い名前が校名に決定するものではありません。

今後、応募された校名案を委員会で協議・検討し、何点かピックアップして住民アンケート(投票)を実施します。

詳細は、第五中学校区にお住まいの方に配布している「第五中学校区義務教育学校の校名案を募集します！」のチラシか、市ホームページをご覧ください。

また、学校名が決定するまでの具体的なスケジュールは次のとおりです(スケジュールは変更する場合があります。)

時 期	内 容
令和4年 9月2日(金)～22日(木)	学校名案アイデア募集
10月初旬～下旬	学校名案アンケート(投票)実施
12月議会	学校設置条例改正案上程 (義務教育学校の学校名を提案)

グランドデザインについて話し合いました

新たな義務教育学校における教育活動の指針となる「グランドデザイン」について協議しました。

【主な特徴】

- ・これまで積み上げてきた小中一貫教育の成果をさらに発展させる教育目標の設定
- ・人権教育がすべての教育活動の土台となるような「教育活動の柱」の組立て
- ・前期課程6年、後期課程3年の枠組みを保ちながら、4・3・2制のメリットを柔軟に取り入れた教育活動

【委員からの質問と事務局の回答】

- Q 1 SC（スクールカウンセラー）やSSW（スクールソーシャルワーカー）は専属で配置されるのか。
- A 1 SCについては、毎日の専属配置ではありません。これまでも週1回、第五中学校区へ配置し、二色小学校と第五中学校を兼務していましたが、開校後は週1回義務教育学校に配置します。
SSWは現在と同じく、必要に応じて派遣します。
- Q 2 GIGAスクール構想、TTについて説明してほしい。また、学校におけるICT活用にはどのようなものがあるか。
- A 2 GIGAスクール構想は、児童生徒1人に1台タブレット端末を配置する政策、TTはチームティーチングの略で、1クラスに複数の教員を配置し、チームで授業を行うことを指します。また、学校におけるICT活用には、電子黒板やデジタル教科書の導入などがあります。
- Q 3 グランドデザインに書かれている、汎用的能力とはどのようなものか。
- A 3 知識を詰め込むだけでなく、それを様々な場面で活用する力を指します。

宮瀧会長がグランドデザインについて、「グランドデザインは学校の教育活動の設計図であり青写真となるもので、教職員と考えて作成した。今まで二色小学校と第五中学校で大切にしてきた教育をさらに発展させるとともに、新しい教育をめざし、最先端の学びの実現を目標としている。社会と結びついた教育の実現のために、自分から課題意識をもって解決しようとする『主体性』や、人との対話の中で答えを導き出す『対話的』な学びを大切にしていこう。一人ひとりの学びを大切に、誰一人取り残さない学校、地域に誇れる未来に開かれた学校をつくっていきたい。」と説明しました。

完成したグランドデザインは、今後、学校の教育方針や目標を策定する際の基礎となります。

義務教育学校のページ
(貝塚市ホームページ内)

次回会議は9月28日(水)19時から開催します。

お問合せ：貝塚市教育委員会事務局 教育総務課 山本 (TEL433-7106)
学校教育課 永井 (TEL433-7114)
Mail kyoikusomu-h@city.kaizuka.lg.jp

